

# 銀行勘定調整表

## I. 銀行勘定調整表の作成目的

企業の当座預金勘定の残高と、実際に銀行に預けられている預金口座の残高は一致しないことが多々あります。

例えば、企業側に振り込まれた預金額が16万円のところを、銀行側が「6」を「0」と見誤って10万円として記帳した場合、その差額6万円はずっと埋まることはありません。そこで、主に決算日、あるいは月末など区切りのいい時に銀行での預金残高がいくらであるかの残高証明書を発行してもらい、この証明書と企業側の当座預金勘定の残高と一致していないときはその原因を確かめ、最終的には両者の残高が一致することを表すために銀行勘定調整表が必要になります。

## II. 一致しない原因

企業の当座預金勘定の残高と銀行の残高証明書とが一致しない原因には、企業と銀行の両方に問題がある可能性があります。以下の6つを押さえましょう。

- ①時間外預入（じかんがいあずけいれ）
- ②未取立小切手（みとりたてこぎって）
- ③未取付小切手（みとりつけこぎって）
- ④未渡小切手（みわたしこぎって）
- ⑤連絡未通知
- ⑥誤記入（誤記帳）

**未取「立」小切手と未取「付」小切手を混同しないように注意してください。**